

S I D R

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 9 巻第 17 号

第 17 週 (4月20日 ~ 4月26日)

発行年月日:平成21年(2009年) 5月 7日

発行 :滋賀県衛生科学センター内
滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-7438 FAX 077-537-5548

お知らせ:4月1日に大津市が中核市に移行したことに伴い、大津市保健所が開設されました。
滋賀県感染症情報(SIDR)における情報は、大津市保健所管内の情報を含んでいます。

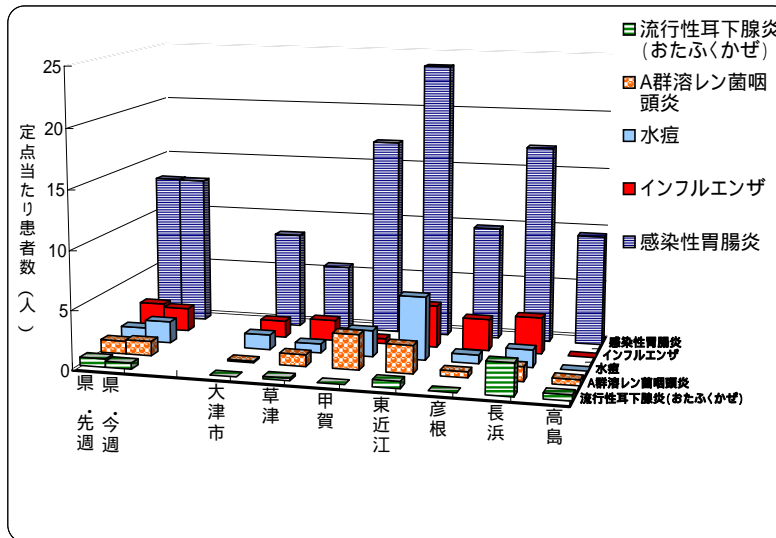
今週の感染症発生動向

インフルエンザA(H1N1)を新型インフルエンザに指定 感染性胃腸炎は、引き続き東近江で多く発生

定点把握の対象となる五類感染症の発生状況は、先週の報告数とほぼ同様です。今週増加した疾患は咽頭結膜熱(プール熱)、水痘等で、減少した疾患はインフルエンザ、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)等です(他の疾患については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。「感染症発生動向調査に基づく感染症の警報・注意報システム」による保健所管内別の警報および注意報の発生状況については、咽頭結膜熱、感染性胃腸炎で警報発生基準値を、水痘で注意報発生基準値を超えている保健所管内があります(詳細については、今週の発生状況:滋賀県における保健所管内別警報・注意報発生状況参照)。

全数把握対象疾患では、二類感染症の結核で8名の届出がありました。

上位5疾患の発生状況(定点把握対象五類感染症、第17週、定点当たり患者数)



県全体における上位疾患の発生状況についてはグラフに示すとおり、感染性胃腸炎、インフルエンザ、水痘、A群溶レン菌咽頭炎、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)の順に多くなっています。インフルエンザは東近江および彦根で先週より増加しています。感染性胃腸炎は甲賀および長浜で先週よりかなり増加しています。水痘は東近江で先週より倍増し、流行性耳下腺炎は長浜で多くなっています。

新型インフルエンザ(インフルエンザA/H1N1)

新型インフルエンザは、ブタ由来のインフルエンザウイルスA/H1N1にヒトが感染した場合をいいます。世界保健機関(WHO)は、世界的に感染が拡大している新型インフルエンザの呼称を豚インフルエンザからインフルエンザA(H1N1)に改めると発表しました。

新型インフルエンザの症状は通常の季節性インフルエンザと同様の症状を示しますが、嘔吐や下痢などの消化器症状を示すこともあります。

新型インフルエンザ(インフルエンザA/H1N1)の予防

1. 日頃から石鹸・流水による手洗い、うがいを行う、「咳エチケット」を守ることが大切です。
2. 新型インフルエンザが流行している地域では、患者との濃厚な接触を避けることが大切です。濃厚な接触とは、数m以内で話をしたり、体液や排泄物などに触れる場合を言います。

咳エチケット:せき・くしゃみの症状がある時はマスクをする。
せき・くしゃみをする時は口と鼻をティッシュでおおう。
せき・くしゃみをする時は周りの人から顔をそむける。

*新型インフルエンザの発生状況

1) 全数報告の感染症(一類～五類)

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といいます。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。

感染症類型	疾患名	報告数 (17週)	累積報告数		平成20年報告数	
			滋賀 (17週)	全国 (17週)	滋賀	全国 ^(*)
一類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
二類感染症	結核	8	101	7,826	282	28,419
三類感染症	細菌性赤痢	0	0	56	^(*) 3	320
	腸管出血性大腸菌感染症	0	3	295	53	4,322
四類感染症	E型肝炎	0	1	15	0	43
	A型肝炎	0	0	27	3	170
	コクシジオイデス症	0	0	1	1	2
	デング熱	0	0	20	2	104
	マラリア	0	0	21	1	56
	レジオネラ症	0	1	187	10	893
五類感染症	アメーバ赤痢	0	4	270	10	872
	ウイルス性肝炎	0	1	71	5	241
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	34	2	152
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	1	40	1	113
	後天性免疫不全症候群	0	2	468	11	1,568
	ジアルジア症	0	0	27	1	76
	梅毒	0	0	228	5	839
	破傷風	0	1	20	5	123
	急性脳炎	0	0	82	1	190
	風しん	0	2	65	2	309
	麻しん	0	0	274	39	11,015

* 1: 平成20年の全国報告数は、平成20年に滋賀県で報告された疾患を対象としています。

感染症発生動向調査事業年報暫定値(国立感染症研究所感染症情報センター)

* 2: 検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分1件を含みます。

全国における全数報告感染症の発生状況 - 第17週(4/20～4/26) -

一類感染症: 報告なし		四類感染症: つつが虫病	4例	五類感染症: 後天性免疫不全症候群	10例
二類感染症: 結核	344例	レジオネラ症	9例	クロイツフェルト・ヤコブ病	3例
三類感染症: 腸管出血性		五類感染症: アメーバ赤痢	8例	劇症型溶血性	
大腸菌感染症	14例	梅毒	5例	レンサ球菌感染症	1例
細菌性赤痢	3例	破傷風	1例	バンコマイシン耐性	
腸チフス	2例	急性脳炎	2例	腸球菌感染症	1例
パラチフス	1例	風しん	3例	ウイルス性肝炎	6例
		麻しん	17例		

2) 定点把握の対象となる五類感染症

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症です。また、定点当たり患者数とは、一週間に単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。

例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点*から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります。*疾患により定点数は異なります。

(1) 疾病別・週別発生状況(平成21年第12～17週、3/16～4/26)

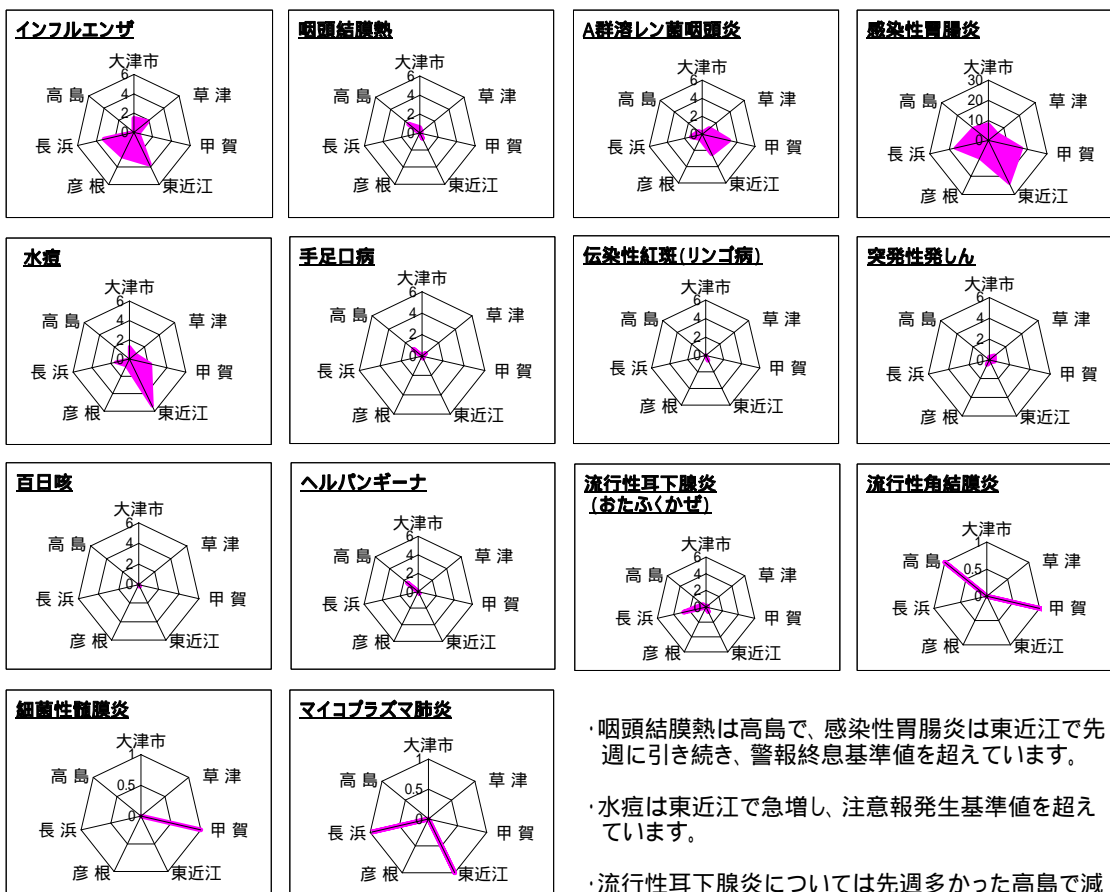
疾患名	定点当たり患者数 (前週より増加 前週と同じ 前週より減少)										
	12週	13週	14週	15週	16週	17週	週				
	(3/16～)	(3/23～)	(3/30～)	(4/6～)	(4/13～)	(4/20～)	13	14	15	16	17
インフルエンザ	11.15	6.78	3.88	1.56	2.31	2.02					
RSウイルス感染症	0	0.15	0	0.06	0	0					
咽頭結膜熱(プール熱)	0.03	0.12	0.55	0.23	0.23	0.35					
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.64	1.48	1.26	0.61	1.10	1.23					
感染性胃腸炎	9.12	9.61	9.65	12.87	12.90	12.87					
水痘	2.09	1.67	1.32	1.65	1.19	1.87					
手足口病	0.15	0.18	0	0.13	0.10	0.16					
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.06	0.06	0.03	0	0.19	0.10					
突発性発しん	0.36	0.45	0.13	0.29	0.45	0.32					
百日咳	0.03	0.03	0	0.03	0	0.03					
ヘルパンギーナ	0.06	0.03	0.16	0.16	0.13	0.13					
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.67	0.67	0.29	0.74	0.71	0.52					
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0					
流行性角結膜炎	0.13	0	0.25	0.25	0	0.50					
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0.14					
無菌性髄膜炎	0.14	0	0	0	0	0					
マイコプラズマ肺炎	0.14	0	0	0.14	0	0.29					
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0					

(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第17週、4/20～4/26)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)									疾患別発生状況(県全体)
	県	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	0	
インフルエンザ	2.02	1.45	1.78	0.43	3.63	2.71	3.14	0		
RSウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0		
咽頭結膜熱(プール熱)	0.35	0.57	0.20	0	0.60	0	0	1.50		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.23	0.14	1.00	3.00	2.40	0.50	1.25	0.50		
感染性胃腸炎	12.87	8.29	5.60	17.00	23.80	9.75	17.00	9.50		
水痘	1.87	1.29	0.80	2.25	5.40	0.75	1.50	0		
手足口病	0.16	0	0.40	0	0.20	0	0	1.00		
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.10	0	0	0	0.60	0	0	0		
突発性発しん	0.32	0.29	0.60	0.50	0.20	0.50	0	0		
百日咳	0.03	0	0	0	0.20	0	0	0		
ヘルパンギーナ	0.13	0	0	0	0.20	0	0	1.50		
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.52	0	0.20	0	0.60	0	2.75	0.50		
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0		
流行性角結膜炎	0.50	0	0	3.00	0	0	0	1.00		
細菌性髄膜炎	0.14	0	0	1.00	0	0	0	0		
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0		
マイコプラズマ肺炎	0.29	0	0	0	1.00	0	1.00	0		
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0		

■ は定点当たり患者数が先週より増加 ■ は警報発生中 ■ は注意報発生中

疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



- 咽頭結膜熱は高島で、感染性胃腸炎は東近江で先週に引き続き、警報終息基準値を超えています。
- 水痘は東近江で急増し、注意報発生基準値を超えています。
- 流行性耳下腺炎については先週多かった高島で減少し、定点当たり患者数は0.5となり注意報発生基準値(3.00)未満となっています。

(3)今週の発生状況

トップページに戻る

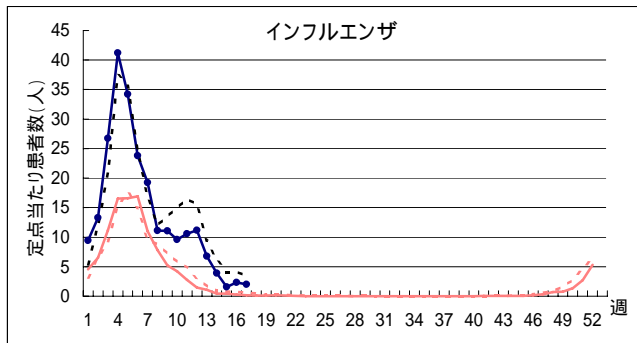
滋賀県における保健所管内別警報・注意報発生状況(平成21年第17週)

疾患名	県	保健所管内別							警報開始基準値	警報終息基準値	注意報発生基準値
		大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島			
咽頭結膜熱(プール熱)	0.35	0.57	0.20	0	0.60	0	0	1.50	2.00	0.10	-
感染性胃腸炎	12.87	8.29	5.60	17.00	23.80	9.75	17.00	9.50	20.00	12.00	-
水痘	1.87	1.29	0.80	2.25	5.40	0.75	1.50	0	7.00	4.00	4.00

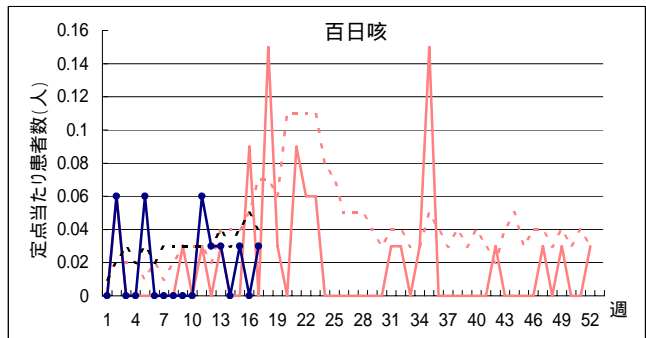
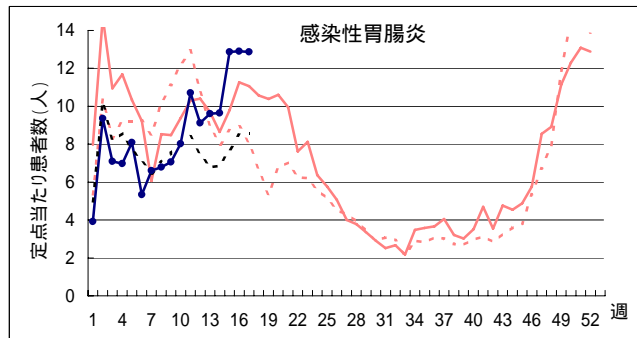
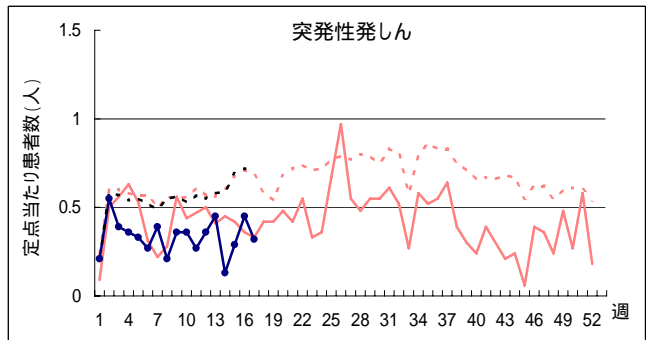
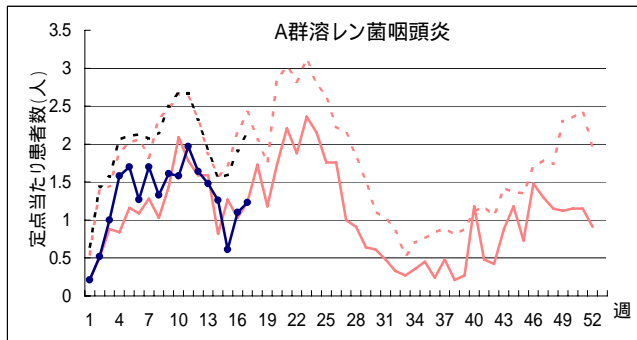
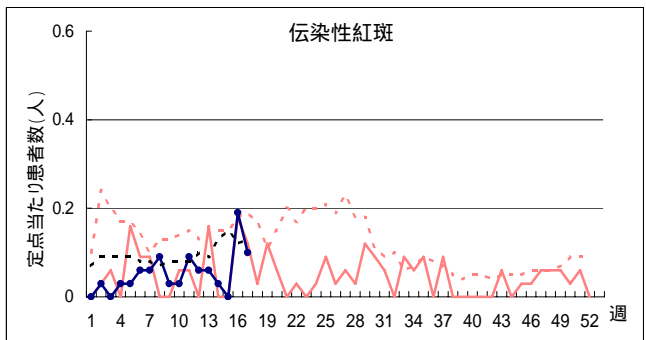
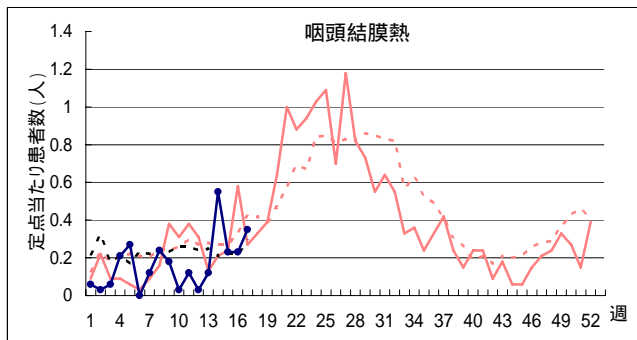
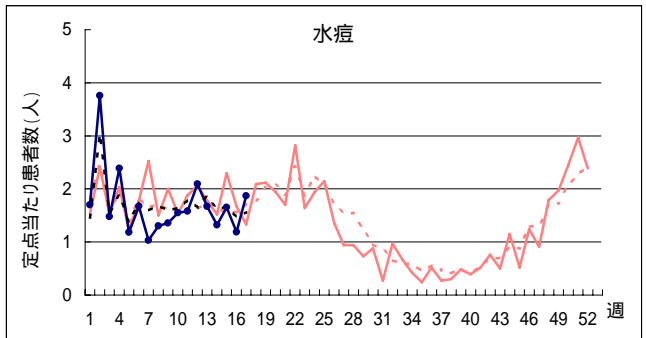
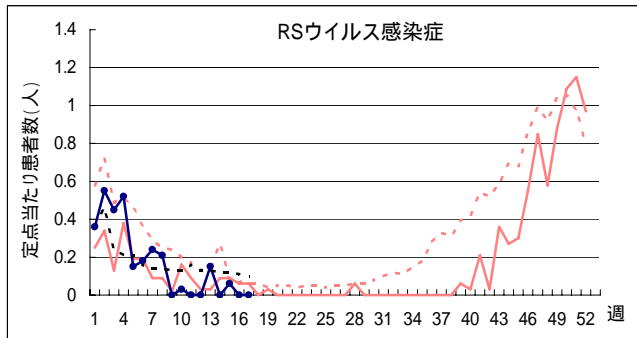
*基準値はすべて定点当たり患者数(人)です。また、注意報の数字が入っていないものは、注意報の対象外という意味です。

★ : 警報開始基準値または警報終息基準値を超えています。 ★ : 注意報発生基準値を超えています。

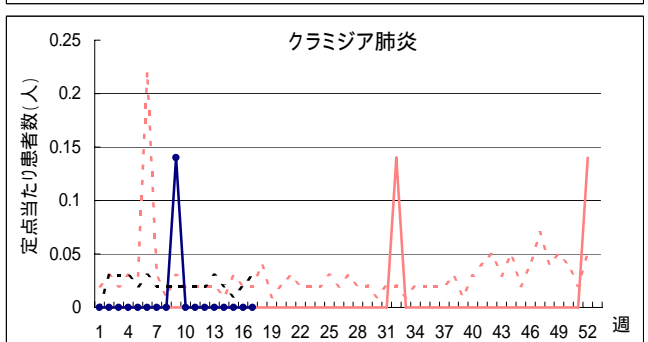
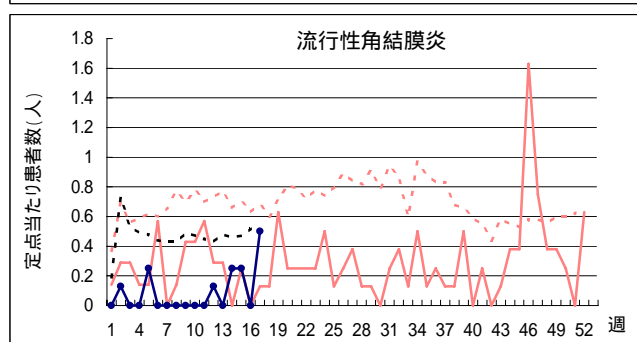
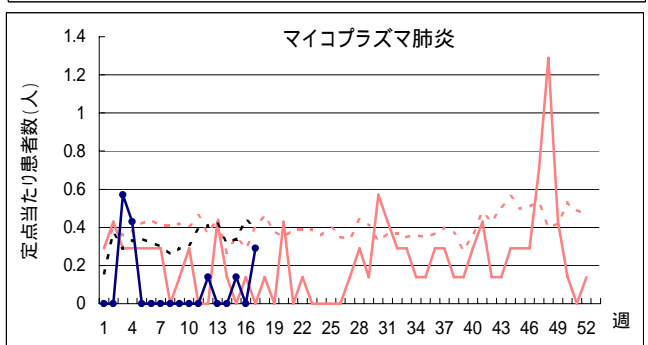
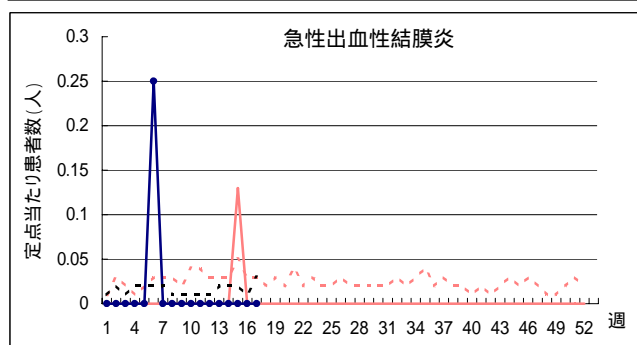
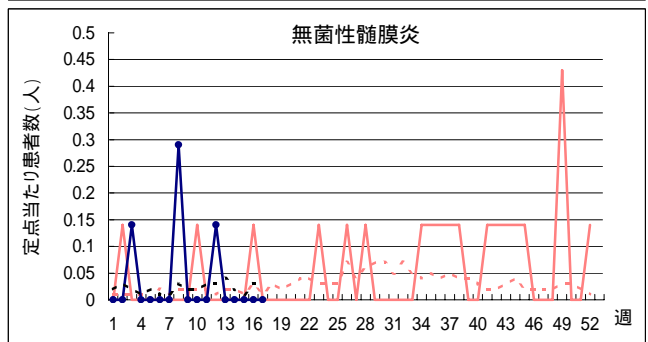
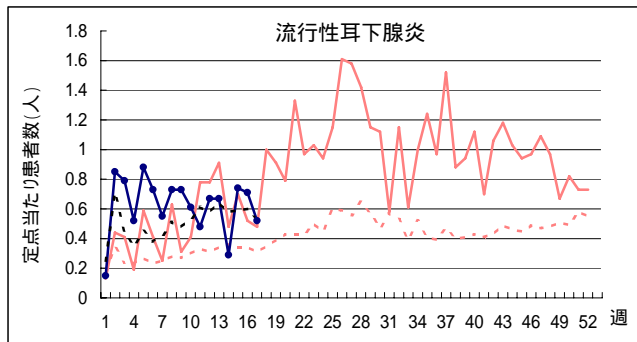
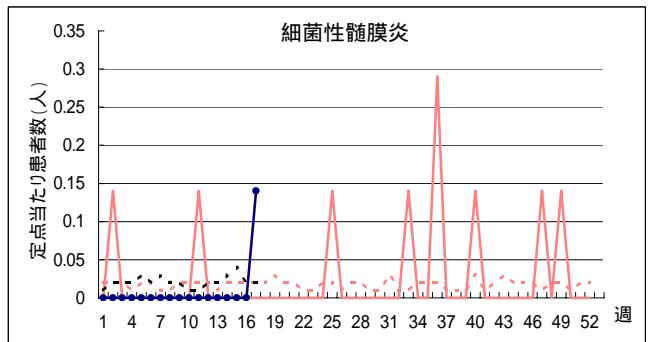
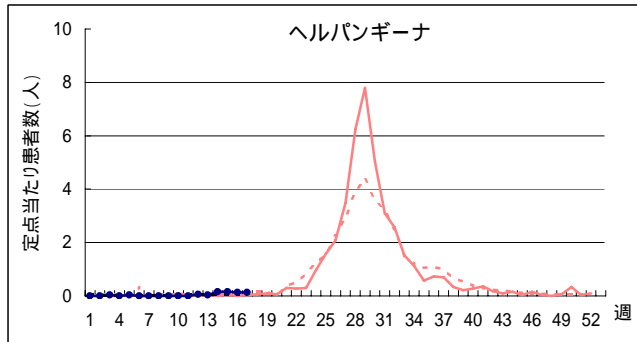
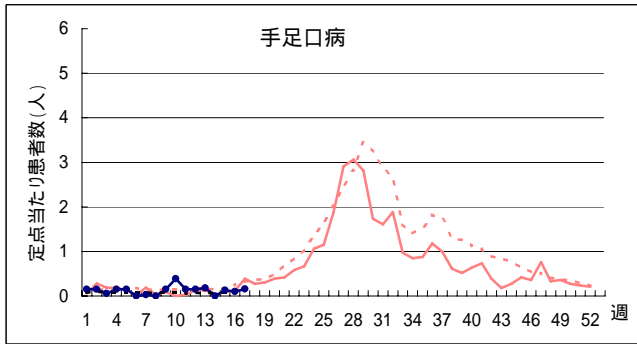
疾病別定点当たり患者数(平成21年第17週、H19.12.29～H21.4.26)



H20 { 滋賀 (solid red line)
 全国 (dotted red line)
 H21 { 滋賀 (solid blue line with dots)
 全国 (dotted black line)



疾病別定点当たり患者数(平成21年第 17 週、H19.12.29 ~ H21.4.26)



H20 { 滋賀 ————
 全国 ······
 H21 { 滋賀 —●—
 全国 ······